

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

01 副市長に弘瀬優氏が就任しました

前副市長中澤慎二氏の退任に伴い、後任として弘瀬優氏が就任し、1月1日から桑名市長との新体制がスタートしています。



副市長 弘瀬 優氏

1985年高知市役所入庁。健康福祉総務課長、財務部長、総務部長、上下水道局長を経て、2022年4月から農林水産部長。

【問い合わせ先】秘書課 ☎ 823-9443

02 住民税非課税世帯等生活支援給付金(第2期)

物価高騰の影響により負担が増大している低所得世帯(住民税非課税世帯)に対し、1世帯当たり7万円の給付(対象1世帯につき1回限り)を行っています。



- ▶ 「支給のお知らせ」が届いた世帯
手続きは必要ありません。1月25日に支給しています。
 - ▶ 「支給要件確認書」が届いた世帯
内容を確認後、必要事項を記入し、3月29日(金)までにご返送ください(必着)。不備がなければ提出から約2~4週間後の支給となります。
- ※基準日までに離婚したことで非課税となった世帯、または基準日時点で配偶者等からの暴力などを理由に避難している全員が非課税である世帯も、対象となる可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

令和5年12月1日(基準日)において、高知市に住民登録があり、世帯全員の令和5年度の住民税均等割が非課税である世帯
※世帯全員が、住民税が課税されている方の扶養親族等になっている場合は対象外です。

【問い合わせ先】住民税非課税世帯等生活支援給付金コールセンター ☎ 050-3644-9007(土・日曜日、祝日を除く8時半~17時15分)

03 子育て世帯生活支援特別給付金

物価高騰の影響に直面している低所得の子育て世帯に対し、令和5年5月から児童1人当たり5万円(1人の児童につき原則1回限り)の給付金を支給しています。

①ひとり親世帯で、公的年金(遺族年金、障害年金、老齢年金等)を受給しているため、令和5年3月分の児童扶養手当を受給していない方②令和5年度住民税均等割が非課税の主たる生計維持者③物価高騰の影響を受け、家計が急変した主たる生計維持者
※①は平成16年4月2日、②③は平成17年(障害のある児童は平成15年)4月2日以降生まれの児童を養育する父母等が対象です。詳しい所得要件等はHPでご確認いただくか、お問い合わせください。

申請期限 **2月29日(木)まで(必着)**
※令和6年2月15日(木)~29日(木)に生まれたお子さんも、出生日翌日から15日以内なら申請可能。

申請方法
子育て給付課(本庁舎3階)で配布する申請書類に記入し、添付書類と合わせて直接または郵送で。申請書類は子育て給付課HPからダウンロードできます。



【申し込み・問い合わせ先】
〒780-8571 本町5-1-45 本庁舎3階
子育て給付課 ☎ 823-9447



パンダなどのアニマルサイクルや遊具、お絵描きのできる落書きボードなど、子どもたちがさらに楽しく遊べる施設にリニューアル!詳しくは7ページをご覧ください。

DATE ■ 2023/12/9
PLACE ■ 高知競輪場ファミリールーム

高知市の SNS

高知市 総務課 国際交流員「高知の城下へ来てみや」
@kochicity_cir



登録はこちら▶

アメリカ・中国・インドネシア出身の市国際交流員の3人が高知市のことや姉妹・友好都市の情報、言語講座などのイベント情報を発信しています。まずは、インスタグラムから他国の文化に触れてみませんか。

高知市の人口と世帯

令和6年1月1日現在

人口(前月比) ▶ 31万6,410人 (-256人)
男 14万8,019人 (-120人) 増加 出生124人 転入等438人
女 16万8,391人 (-136人) 減少 死亡362人 転出等456人

世帯(前月比) ▶ 16万4,373世帯 (-119世帯)
増加 転入263世帯 その他164世帯
減少 転出268世帯 その他278世帯

おらんく家の元気人! Vol.11



profile >>> キエル イェヘスキエル KHIEL Yebeskiel (36)
インドネシア、西ジャワ州バンドン出身。高知市の龍馬学園に日本語留学し、一昨年に高知ファイティングドッグス(株)に就職。子どもたちを対象にしたスポーツイベントの運営や留学生サポートなどの業務に関わっている。

高知と世界の「架け橋」に

来日前はインドネシアの日系企業に勤務していたキエルさん。厳しくも部下を大切にしている日本人上司との交流をきっかけに、日本の言葉や文化、価値観を学ぼうと2019年に来高しました。「自然が多くて、静かで勉強に集中できるし、おいしいお刺身がスーパーで気軽に買えるなんて!」と、すぐに高知での暮らしが気に入ったそうです。

「人と人をつないで困り事を解決する架け橋になれました」。留学中に高知県外国人生活相談センターで、相談者に生活情報をインドネシア語で伝える仕事を経験。それが現在関わる子ども

向けのスポーツイベントなどにも生かされています。「年齢や言葉が違って一緒に楽しめるスポーツは、誰もがすぐに仲良くなれて交流が生まれます」。

将来の目標は、インドネシアに日本語学校を作り、言葉だけでなく日本の習慣や文化も伝えて母国を発展させたいというキエルさん。「自分がいろんな人と友達になることで、高知と世界の交流が活発になって、みんなが住みやすい高知になれば」と笑顔を見せました。

▶留学生家族に高知城を案内するキエルさん(一番左)

